臺灣日日新報 夕刊
一月三十日

聖上陛下の御精勵畏き極み
今曉に至って御寢

特に熟考の期間を乞ひ奉りて宮中退下
組閣の見込がついた上で大命を拜受、工作に移らん

熟考の後に決意
大命を拜した林大將談

陸軍は全面的に支持
海軍も協力を惜まぬ

議會を中心に政界異例の大嵐 (7)
臺灣は政變に超越

平沼男は固辭
林大將奏薦の事情

元老奉答の新例
軍の總意を說明
梅津次官が林大將に

杉山大將を陸相に推薦す
三長官會議で決定

教育總監には畑軍司令官か
さうなれば後任は中村中將

閣員の下馬評
革新的代表分子を網羅
杉山、末次兩氏は確定的

書記官長は十河氏か

大將邸の訪問者

主なる訪問者

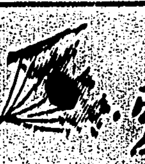
組閣本部決定

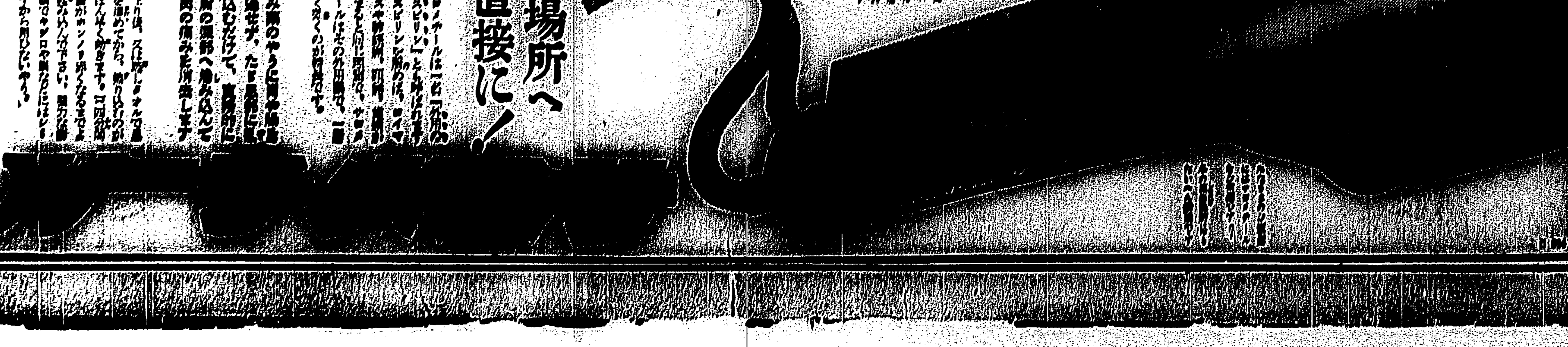
政黨の態度

民政黨

政友會

愛すべき哉 (101)
武田麟太郎作
宮永勝太郎畫





痛む場所へ直接に！

髭の「眼力将軍」凍る深夜の參內

お伴の車は二八年型

【東京三十日發本社特電】……頗る物靜かに飄々と……自動車に……

【東京三十日發本社特電】林大將の千駄ケ谷の自邸に宮中から御召の電話がかかつたのは夜の十一時だつた、廿日頃から風邪気味で寢たり起きたりしてゐた大將はこの時も床に就いてゐたが早速飛び起きてフロックコートに着替へ……大將は寒さに驚かない、やつと……

……じて……にこやかに……大將の參內にお供した自動車は一九二八年型と云ふ古めかしいハドソン千駄ケ谷の自動車屋のハイヤーだ……

大命を拜した林大將と家族

家族との寫眞は"正式に大命拜受後"

几帳面な大將の挨拶

【東京三十日發本社特電】自邸に歸つた林大將は一服、間もなく……家族との初會見だ、アームチエヤーに腰をおろし後ろにロイド眼鏡をかけて

深く考へた上何分の決意を致す考へでありますそれでお終ひ

如何にも武人らしく几帳面な言葉、……について……に對し、この間から歯が痛むので今度は……本的に治療をする心算だ、風邪はもう大體よろしい

それから……は機嫌よくあつちを向きこつちを向くものの家人との撮影は「正式に拜受してからにして呉れ」と……

圓滿組閣を祈願

明治神宮、靖國神社に林大將早朝參拜

【東京三十日發】……組閣の大命を拜した林大將は三十日午前七時五十分千駄ケ谷の自邸を出で明治神宮、靖國神社に參拜……し一休みしたのち……した

朗かな三宅坂

中堅將校の期待すらすらと實現

早くも閣僚の下馬評

滿洲國視察團

將兵を招待し建成小學學藝會

七星郡の衞生展と品評會

昨夜の地震

臺南市の人口十一萬六千餘

金物を盗んで遊び廻る

アパリー港愈よ一日より開港

期待される臺比貿易

貧しい寡婦を欺き保險金を賭博に費消

三千圓のうち殘り五圓

トランク から一千圓抜取る

主人の金三千圓拐帶逃走

茶商の店員

五十年前

異國渡航熱に海外放浪十六年

野望滿々・往年の海國男子

工藤俊明翁の昔話

……今より五十年前明治二十一年頃と云へば吾が國が……外法權の撤廢を……杯を嘗めつつあつた時、我が國力が今日の如き……時で先進歐米諸國の文物……浮かされて居た時である、……澎湃たる異國渡航熱に浮かされ……故國を後に香港を振出しに……一年二ケ月、印度に一年半……ガポールに二年、オーストラリアに四年、英國に四年、米國に……

……と前後十六年間外國に……眞の郷一貫で辛酸を嘗めつつ……國の風を觀き、人情風俗の……觸れて來た往年の海國男児……八十の翁となつて臺北市若竹……獨り淋しく老後を送り、往年……ぎこし方數多の冒險の數々を……映して昔の夢を樂しんで居る……ふ珍らしい老翁がある、工藤……氏(八〇)が其人で八十歳とは……矍鑠しく、如何にも若かり……「若人よ野望に燃えよ!」と……行つて無一文で世界を十六年……浪した丈けはある、……

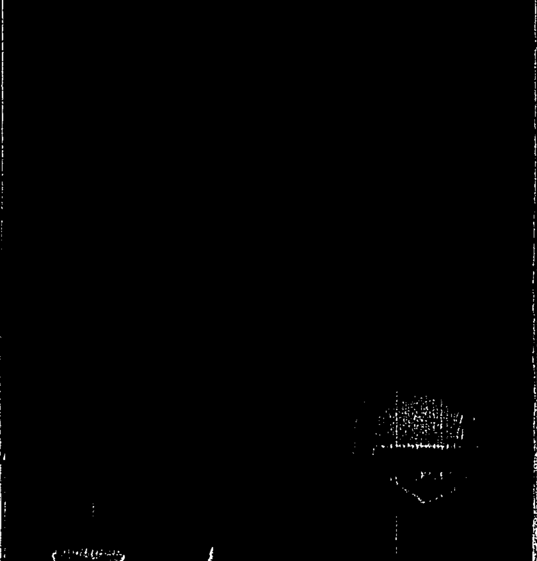
（寫眞は工藤翁）

本島全ファンの待望に堂々來演! 女流浪曲の日本一 天中軒雲月 榮座

不注意から! 大切な時に! かぜは早期の治療 へブリン丸 かぜ・ねつに 頭痛・齒痛 頭痛は 歯痛にカオカン

あすの天氣 冷い晚の映畫

放送



娘のとこだけ死んでゐる

御殿女中 (175)

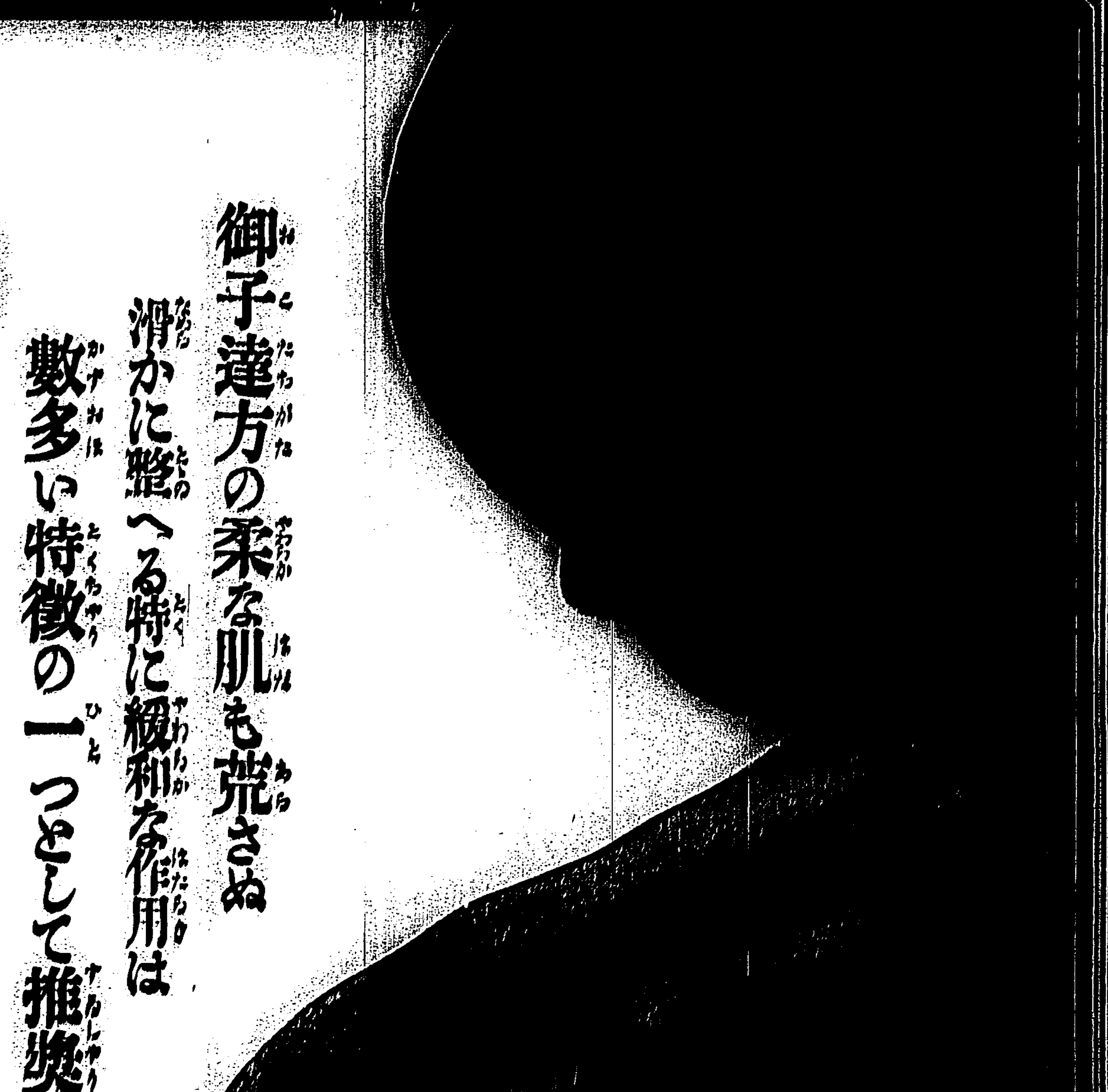
誰も知らない
代役の話 (下)

珍花植物

金鶴香水
お出かけ前にはセピ一振り
ハンカチにタオルに顔に髪に

ボンボン

ミツワ石鹸
御子達方の柔な肌も荒さぬ
滑かに整へる時に緩和な作用は
敷多い特徴の一つとして推奨される
品質は常に研究改善されて向上する
國産無二の石鹸中の高級石鹸



シオノアスピリン
感冒
頭痛
神經痛
に

林銑十郎大將參內
拜組閣後繼大命

林大將知之矢十分慎重
先會陸海軍首腦部
備有成見著手工作

林大將熟知陸軍情勢
陸軍且極力支持
陸相入閣不出條件

海軍不惜支持協力
唯求諒解承認三事
海相後任末次大將最有力

合應網羅各方面
革新的代表人物
林內閣員下馬評

時局重大之際
種種特要熟思
大命拜後林大將談

東京三十日電。林銑十郎大將。既拜大命。三十日午前零時二十分。在私邸如左。

林大將今日方與
陸海兩相等會見

市面料政局安定來
意外平靜好感

三長官薦後任陸相
決定杉山大將

東京三十日發同盟電。三十日午前十一時三十分。陸相官邸。三長官會議。結果。後任陸相決定推薦教育總監杉山元大將。

七星郡物產品評
知事臨場舉授賞式
三十日時於士林公校

商銀總會
質問役員問題

大甲街五里牌工寮
廿九夜忽落雷
就寢中七名被燒死

羅東街豫算
總計廿二萬圓

板橋大觀書社
青年學力
向上講習會

臺中州會閉幕
歲出入第二三讀會
一瀉千里可決原案

衆友會第五回公判
全被告審理完了
訂來一日檢察官論告

警察電線
切斷犯被擒

王中國醫院長
來朝考察

柴車發火

東石

商況

人事

臺灣日日新報

生粋の味がある象徴！

森永製菓株式會社

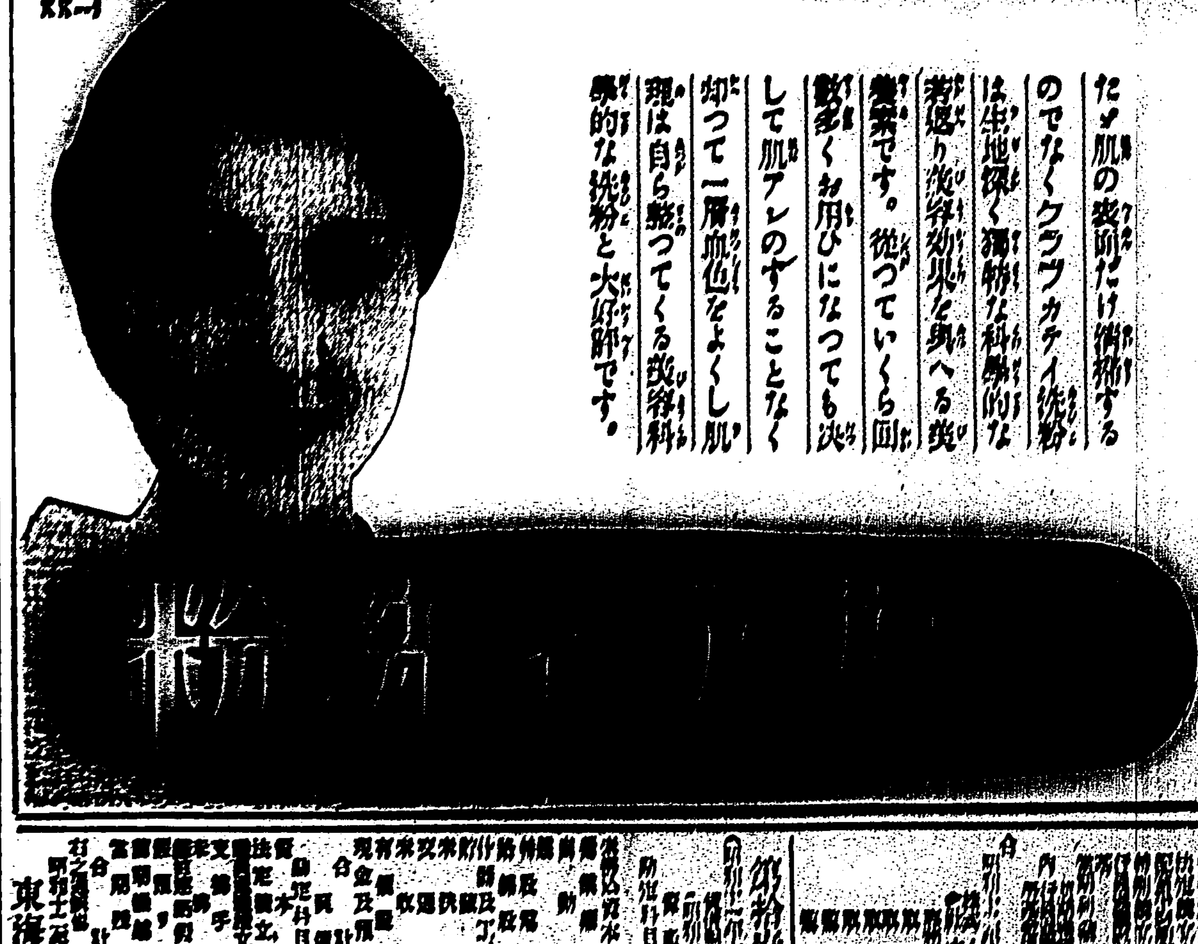
運動に・・
散歩に・・
通學に・・
スポーツに・・

明治チヨコレート

明治製菓株式會社

若返り美養素

たゞ肌の表面だけ修飾するのでなくクラブカテイ洗粉は生理的・薬物的・科學的な若返り美容効果を與へる美容料です。從つていくら回數多く御用ひになつても決して肌アレのすることなく却つて一層血色をよくし肌理は自ら整つてくる美容科學的な洗粉と大好評です。



誇るべき此の特長！

正しき民意の暢達こそ最も熱望するところ
政治の形態及び運用に關し 陸軍當局・所信を發表

清新で明朗な閣僚の銓衡に着手
組閣本部で 十河信二氏が發表

年を取つた人物でも 明朗な人なら取る
十河信二氏と記者が一問一答

組閣は案外早く進捗か
之も一つの豫想

宇垣大將きのふ 大將辭任を正式手續
陸相の態度注目さる

大橋八郎氏 法制局長官に內定

ケソン比島大統領を召されて午餐會
きのふ正式に仰出さる

内閣書記官長は十河信二氏

自分の任官は御斷りした

三十一日中には組閣を完了せん
林大將と會談した後 川島義之大將談

宇垣大將の時は特殊の場合
梅津次官が說明

三月の異動迄專任を置かず
中村中將が總監代理

政友會が緊急總務會を開く

林內閣を支援
國民同盟

下旬貿易

寫眞（上）大命を拜し宮川を辭し自宅に歸つた林大將（中）東大閣を發表する宇垣大將（下）記者團に經過發表する井田氏

登錄商標 初日

初日運動靴

合資會社 初日商行

特約店募集

國產の誇り又一つ！本邦唯一無二の邦文

島田式 タイプライター

佐土原商會

近江屋呉服店

春物新柄付著

春の名古屋帶

小紋錦紗

春の銘仙

正しい眼鏡の使用は

經濟界の現狀と見透し

（四）　高橋龜吉氏講演

條理軌道に乘る財政經濟政策

後繼内閣への財界側要望は只管此の點に集注

林内閣成立見越に諸株一齊に昂騰

特に軍需株、船株、產金株等々

林内閣に對し財界は一先づ好感

今後は大藏、商工大臣の人選に注視集まる

金融界方面の觀察

大阪財界人の政治經濟研究會發會式

この景氣は二、三年續かう

建築界の盛況も一因ながら通貨膨脹は世界的

株式界は案外樂觀

東海自動車　八分配當可決

各國血眼の世界油田物語

（上）　久住久吉氏談

南邦自動車　年一割配當可決

臺中州青果同業組合總會

臺北製壜總會

臺東線の赤字克服

開通以來十四年ぶり

新記錄の下旬貿易

輸出額一億圓を突破

總會終了

法貨切下